

## 取扱いの趣旨

甲状腺機能異常等に対する経過観察時において臨床的有用性が低く、自己免疫性甲状腺疾患に該当しない疾患は検査の対象とならないことから、抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量等の算定は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

### 【検査】

《令和7年4月30日》

500 抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量又は抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体（バセドウ病等）の算定について

#### ○ 取扱い

① 次の傷病名に対するD014「3」抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量又は「11」抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体の算定は、原則として認められる。

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| (1) バセドウ病（初診時又は診断時）      | (2) 甲状腺機能亢進症（初診時又は診断時） |
| (3) 慢性甲状腺炎・橋本病（初診時又は診断時） | (4) 甲状腺機能低下症（初診時又は診断時） |
| (5) 無痛性甲状腺炎（初診時又は診断時）    |                        |

② 次の傷病名に対するD014「3」抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量又は「11」抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体の算定は、原則として認められない。

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) 甲状腺機能異常（経過観察時（定期チェック）） | (2) 亜急性甲状腺炎（経過観察時（定期チェック）） |
| (3) 急性化膿性甲状腺炎              | (4) 甲状腺癌（術後）               |
| (5) 悪性甲状腺腫瘍（術後）            | (6) 結節性甲状腺腫（経過観察時（定期チェック）） |

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量及び抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体は、甲状腺ホルモン合成に関わる酵素、ペルオキシダーゼに対する自己抗体であり、甲状腺に対する細胞障害性が認められており自己免疫性甲状腺疾患の病態に関与する。そのためバセドウ病や橋本病などにおける初診時又は診断時に必要と判断される。

一方、経過観察時においては臨床的有用性は低い。また、その他の疾患は自己免疫性甲状腺疾患には該当せず、検査の対象とはならない。

以上のことから、①の傷病名に対するD014「3」抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量又はD014「11」抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体の算定は、原則として認められ、②の傷病名では、原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	宮城、岩手、京都、山形、香川、岐阜、福島、徳島	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	—	
③請求どおり・審査委員	岩手、宮城、福島、京都、山形、岐阜、香川、徳島	対象1万件当たり件数の多い順

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、バセドウ病や橋本病疑いに対して診断のために実施していることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒審査委員長から連絡・再周知

該当件数に対する検証結果

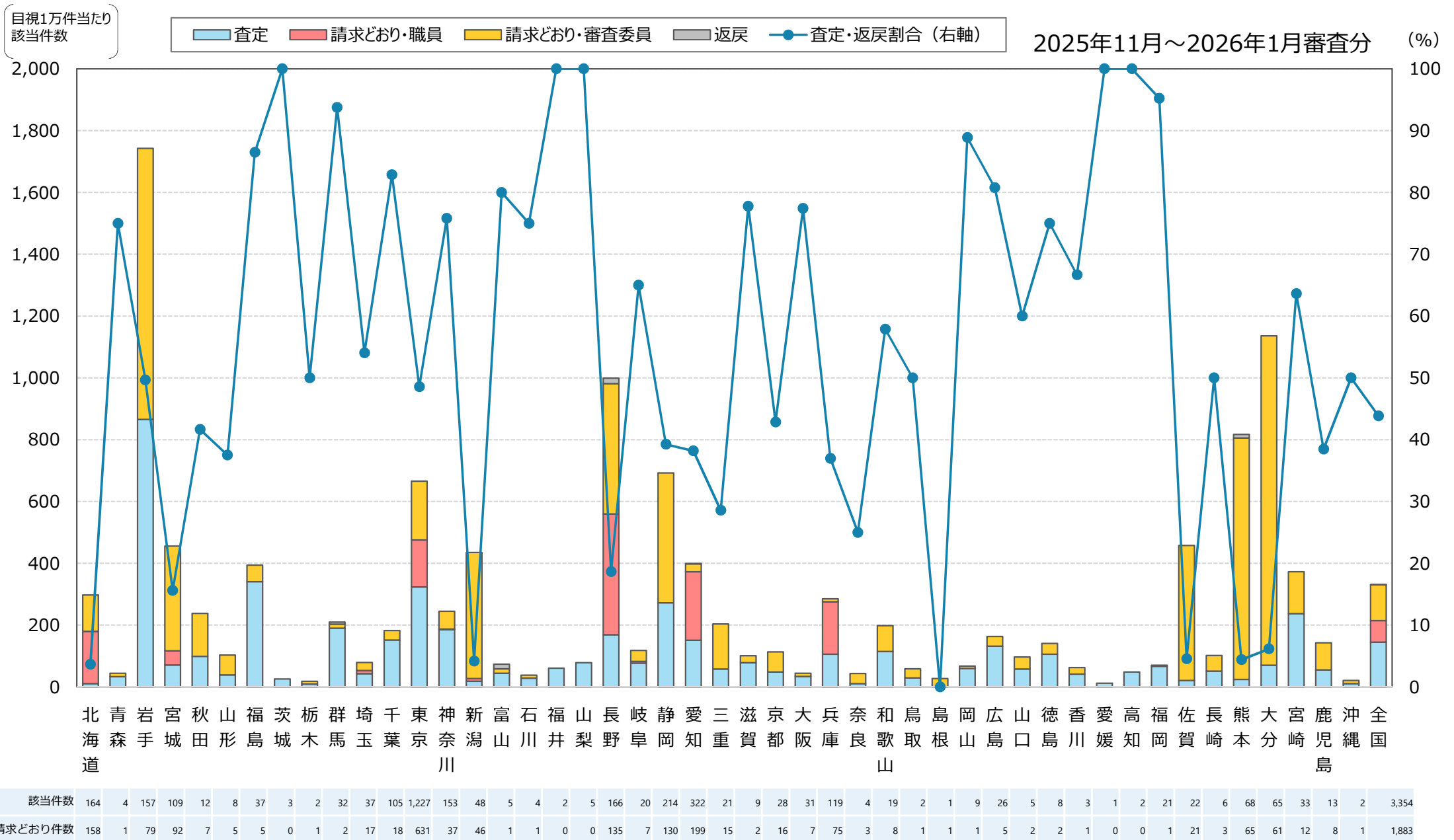
2025年11月～2026年1月審査分

検証の結果、該当件数3,354件のうち、**取扱いと異なる審査は214件（6.38%）**  
検証対象38都道府県のうち、**フォローアップ対象は8都道府県**

都道府県		検証結果											
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）				
			計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
						査定	返戻	査定 返戻 計					
01	北海道	164	164	100.00%	6	0	6	158	0	0.00%	0	0	
02	青森	4	4	100.00%	3	0	3	1	0	0.00%	0	0	
03	岩手	157	78	49.68%	78	0	78	0	79	50.32%	0	79	
04	宮城	109	28	25.69%	17	0	17	11	81	74.31%	0	81	
05	秋田	12	12	100.00%	5	0	5	7	0	0.00%	0	0	
06	山形	8	5	62.50%	3	0	3	2	3	37.50%	0	3	
07	福島	37	32	86.49%	32	0	32	0	5	13.51%	0	5	
08	茨城	3											
09	栃木	2											
10	群馬	32											
11	埼玉	37	36	97.30%	20	0	20	16	1	2.70%	1	0	
12	千葉	105	104	99.05%	87	0	87	17	1	0.95%	0	1	
13	東京	1,227	1,215	99.02%	596	0	596	619	12	0.98%	0	12	
14	神奈川	153	152	99.35%	116	0	116	36	1	0.65%	1	0	
15	新潟	48	47	97.92%	2	0	2	45	1	2.08%	1	0	
16	富山	5	5	100.00%	3	1	4	1	0	0.00%	0	0	
17	石川	4	4	100.00%	3	0	3	1	0	0.00%	0	0	
18	福井	2											
19	山梨	5											
20	長野	166	165	99.40%	28	3	31	134	1	0.60%	1	0	
21	岐阜	20	15	75.00%	13	0	13	2	5	25.00%	0	5	
22	静岡	214	213	99.53%	84	0	84	129	1	0.47%	0	1	
23	愛知	322	322	100.00%	122	1	123	199	0	0.00%	0	0	
24	三重	21	21	100.00%	6	0	6	15	0	0.00%	0	0	

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
			計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻						
						査定	返戻	査定 返戻 計	詳記等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員
25	滋賀	9	9	100.00%	7	0	7	2	0	0.00%	0	0
26	京都	28	15	53.57%	12	0	12	3	13	46.43%	0	13
27	大阪	31	26	83.87%	24	0	24	2	5	16.13%	0	5
28	兵庫	119	118	99.16%	44	0	44	74	1	0.84%	0	1
29	奈良	4	4	100.00%	1	0	1	3	0	0.00%	0	0
30	和歌山	19	19	100.00%	11	0	11	8	0	0.00%	0	0
31	鳥取	2	2	100.00%	1	0	1	1	0	0.00%	0	0
32	島根	1	1	100.00%	0	0	0	1	0	0.00%	0	0
33	岡山	9										
34	広島	26	24	92.31%	21	0	21	3	2	7.69%	0	2
35	山口	5	5	100.00%	3	0	3	2	0	0.00%	0	0
36	徳島	8	7	87.50%	6	0	6	1	1	12.50%	0	1
37	香川	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	0	1
38	愛媛	1										
39	高知	2										
40	福岡	21										
41	佐賀	22	22	100.00%	1	0	1	21	0	0.00%	0	0
42	長崎	6	6	100.00%	3	0	3	3	0	0.00%	0	0
43	熊本	68	68	100.00%	2	1	3	65	0	0.00%	0	0
44	大分	65	65	100.00%	4	0	4	61	0	0.00%	0	0
45	宮崎	33	33	100.00%	21	0	21	12	0	0.00%	0	0
46	鹿児島	13	13	100.00%	5	0	5	8	0	0.00%	0	0
47	沖縄	2	2	100.00%	1	0	1	1	0	0.00%	0	0
全国		3,354							214	6.38%	4	210

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数